



## 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（富山県部会）を開催！ ～平成28年度に向けた取り組みを議論します。～

北陸建設界の担い手を巡る現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体・教育機関・関係行政機関等が一体となって、「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」を平成26年度設置しました。

平成27年6月に富山県部会を開催し、平成27年度の取り組み方針等を決めて、関係機関で連携し、取り組みを進めてまいりました。

この度、平成27年度の活動内容をとりまとめ、情報共有を図るとともに、平成28年度の取り組みの調整を図ることを目的に開催致します。

- 日 時 平成28年2月1日（月）15：00～16：30
- 会 場 富山河川国道事務所 3階会議室（富山市奥田新町2-1）
- 次 第
  1. 開会
  2. 挨拶
  3. 出席者の紹介
  4. 議題
    - 1) 平成27年度 建設系学生・生徒への活動【講座の開設等】
    - 2) 平成27年度 インターンシップ実施状況
    - 3) 平成27年度 建設業界の就職状況
    - 4) 平成28年度 活動予定
  5. 閉会
- 部会員 別紙のとおり
- その他 会議は公開で行います。ただし、取材・撮影は冒頭の挨拶までとします。

・北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会ホームページ

<http://www.hrr.mlit.go.jp/Leaders/index.html>

お問い合わせ先

調査第一課 万行 康文 TEL：076-443-4715（直通）



パレットとやま

国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所

代表電話：076-443-4701 〒930-0837 富山市奥田新町2番1号

<http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

# 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

## 設立趣旨

北陸地方における建設界では、少子高齢化の進展や労働人口の減少に加え、近年の建設投資の大幅な減少による受注競争の激化等により、建設業者数や建設業就業者数も減少しており、とりわけ離職者の増加や若年入職者の減少等の厳しい状況に直面している。また、これらの状況については、これまで建設界の持つ魅力を建設界全体として発信することや建設界に対する好印象を醸成することが、うまくできてこなかったことも主因の一つと考えられる。

このような状況下においては、将来にわたる社会資本の整備・維持管理及びその品質確保や、冬期の除雪を含む災害時の対応等を通じた地域の維持等に支障が生じることが懸念されることから、地域における担い手の確保・育成は極めて重要な課題となっており、平成26年には、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」、「建設業法」「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」のいわゆる担い手三法が改正され、建設工事の担い手の育成と確保について、建設業者団体や国等の責務が明確化されたところである。

上記をふまえ、北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって担い手の確保・育成の取組みを推進することを目的としたプラットフォームとして、「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」を設置する。

## 富山県部会会員名簿

	所 属	役 職	氏 名
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部 広報委員	永田 健二
2	(一社) 富山県建設業協会	常務理事	生駒 秀和
3	(一社) 建設コンサルタツツ協会	北陸支部 副支部長	吉田 攻
4	(一社) 富山県測量設計業協会	副会長	栄 知之
5	富山大学	工学部長	堀田 裕弘
6	富山県立大学	工学部 環境工学科 准教授	手計 太一
7	富山工業高校	校長	當流谷 正博
8	富山工業高校	土木工学科長	帰山 寛
9	桜井高校	校長	高岡 陽一
10	桜井高校	土木科学科長	稲垣 利治
11	高岡工芸高校	土木環境科主任	内山 純治
12	富山労働局	職業対策課長	森本 滋
13	建政部	計画・建設産業課長	荒川 雅之
14	富山河川国道事務所	事務所長	松井 健一 ◎
15	富山県	土木部参事・建設技術企画課長	村岡 清孝
16	富山県教育委員会	県立学校課長	荒木 義雄
17	富山県地質調査業協会	会長	津嶋 春秋
18	(一社) 日本道路建設業協会	北陸支部 幹事	林 和夫

◎ : 部会長